

令和6年9月2日

沖縄県教育庁文化財課

第1回返還文化財保存修復検討委員会および科学分析の実施について

時下ますますご清祥のことと存じます。本県の文化財保護につきまして、日頃から御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、沖縄県教育委員会では、沖縄戦前後の混乱において国外へと流出し、その後返還された文化財について、適切な保存修復のため、文化財の保存修復に造詣の深い学識経験者に調査審議していただくため返還文化財保存修復検討委員会を設置いたしました。

令和6年5月23日に第1回返還文化財保存修復検討委員会を開催し、委員会での提言のに基づき令和6年8月末にかけて下記のとおり意見聴取、科学分析を実施しましたのでお知らせいたします。

1. 第1回返還文化財保存修復検討委員会

(1) 日時

令和6年5月23日（木）13:00～16:45

(2) 開催場所

沖縄県立博物館・美術館

(3). 開催内容

1). 委嘱状交付【公開日程】

委員一覧（五十音順・敬称略）		
氏名	所属	専門
荒井 経	東京藝術大学	絵画・文化財科学
田名 真之	沖縄県文化財保護審議会	歴史学
早川 泰弘	東京文化財研究所	文化財科学
湊 信幸	元東京国立博物館副館長	絵画
森 達也	沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館館長	博物館学（宛職）

2). 委員長の選出【公開日程】

- ・荒井委員、湊委員、早川委員からの推薦により田名委員が委員長に選出された。

3). 資料の実見

【公開日程】

- ・第4代国王尚清、国王名不明の御後絵と考えられる絵画。

【非公開日程】

- ・第13代国王尚敬、第18代国王尚育の御後絵と考えられる絵画。

4). 審議事項「実見に基づく科学分析の手法検討」【非公開日程】

- ・下記参照

(4) 審議事項「実見に基づく科学分析の手法検討」

1). 科学分析の手法について

- ・蛍光X線分析による顔料の分析・超高精細撮影などの必要が提起され、「琉球絵画」についての調査実績を多数有する国立文化財機構東京文化財研究所へと分析を依頼するよう委員から事務局へと提言がなされた。
- ・可能な時点において、本紙の料紙分析も必要となることが提起された。
- ・科学分析の実施時期については、文化庁とも協議の上決定することを事務局から回答した。

2). 修理方針について

- ・米国において行われた補修について、その詳細を確認する必要があることが委員から提起された。
- ・科学分析の結果や、文化庁からの指導助言を待つ必要があるものの、一点あたり複数年の修理期間を要することが確認された。

3). その他

- ・文化庁絵画部門調査官による実見および実見に基づく助言の聴取について、委員会から事務局へと提言がなされた。

→6月6～7日の両日にかけて意見聴取を実施。内容については下記参照。

2. 文化庁絵画部門調査官による指導助言

第1回返還文化財保存修復検討委員会（令和6年5月23日）における提言に基づき、文化庁絵画部門調査官による資料の実見および指導助言の聴取を下記の通り実施しました。

（1）日時

令和6年6月6日（木）・7日（金）

（2）場所

沖縄県立博物館・美術館、沖縄県庁13階文化財課

（3）文化庁絵画部門調査官からの指導助言

- ・学識経験者のみではなく、文化財修理技術者へも実見の上助言を依頼することが先決。
- ・修理は1点ずつ開始するのではなく、全体方針が決まるまでは4点同時が良いと考える。同時進行での修理実施は、修理中の調査も含めて足並みが揃えられるなどメリットが大きい。
- ・本紙の料紙分析については、委員会とも調整の上文化庁歴史資料部門へと依頼してはどうかと提言がなされた。

→文化財修理技術者への資料の実見および助言の依頼、本紙の料紙分析については、委員会と事務局と調整の上、8月2日に実施した。内容については下記参照。

3. 国宝修理装演師連盟、文化庁歴史資料部門調査官指導助言

文化庁絵画部門調査官による指導助言（令和6年6月6～7日）に基づき、国宝修理装演師連盟および文化庁歴史資料部門調査官による本紙の料紙分析および指導助言の聴取を下記の通り実施しました。

（1）日時

令和6年8月2日（金）

（2）場所

沖縄県立博物館・美術館

4. 科学分析実施

第1回返還文化財保存修復検討委員会（令和6年5月23日）における提言に基づき、東京文化財研究所による科学分析を下記の通り実施しました。

（1）日時

令和6年8月19日（月）～23日（金）

（2）場所

沖縄県立博物館・美術館